

# 透明な目保つ物質特定

## 同大など 角膜治療薬開発に道

視覚を保つために欠

かせない角膜の透明性を維持する仕組みを、

京都府立医科大学と同志

社大のチームが解明した。目にけがなどをして

た場合、炎症で角膜を

濁るのを抑えるタンパク質の役割を特定。こ

れまで角膜移植しか方

法がなかった、失明に至るやけどなどの治療

薬開発につながるという。九日付米科学誌電

子版に掲載された。

チームは、タンパク

質「LRIG1」が角膜では強く働いているこ

とをつきとめた。「L

RIG1」が働かない

ようにしたマウスでは

角膜に傷が付くと炎症

が発生し、半年目以降、

透明性が少しずつ失わ

れ、一年後には失明。

しかし、傷を治すため

に炎症を起こす別のタ

ンパク質「STAT3」

の働きを抑える化合物

を点眼すると、角膜の

透明性は維持された。

この結果、「LRIG1

」が「STAT3」の働きを抑えて炎

症を起こさせないこと

で、動物でたった一つの透明な組織である角

膜の透明性を保っていることが分かった。